

【理想の“未来”の姿】**充実した毎日**

20年後の理想の“未来”の姿として、20年後においても充実した毎日を誰もがみな迎えることができることを行政のみならず、市全体の大きな共通理念として設定します。

20年先とは、今生まれた子が、20歳（ハタチ）になる時です。20年後、その子たちが希望を抱き、夢に向かって充実した毎日を迎えることができるまちを創りあげる・残していくことが現在の私たちの使命であると考えています。

○充実した毎日のイメージ

- 【楽しい】一人ひとりが夢や希望を持ち、ワクワクする毎日
- 【幸せ】他者に支えられ、他者を支える つながりと愛にあふれた幸せな毎日
- 【居心地がよい】生活環境が充実し、おだやかで居心地のよい毎日

【理想の“未来”の構成要素】

理想の“未来”の構成要素として、「暮らし・つながり・生活環境」の3つの視点に着目しました。個人としての「暮らし」から、人と人で創る「つながり」、それらを取り巻く「生活環境」この3つの視点がレイヤー（階層）となり、未来のまちを型どるものと捉えています。また、これらを「成長の継続」が力強くけん引してくことで、さらなる充実を図り、理想の“未来”に近づいていくことを目指しています。

○実りある暮らし

【暮らしのイメージ】

- ・心身ともに健康で、精神的にも経済的にもゆとりを持った暮らし
- ・笑顔にあふれ、他者から必要とされるなど、生きがいを感じながら過ごせる暮らし
- ・自分自身の成長を感じ取れる喜びのある暮らし

○充実したつながり

【つながりのイメージ】

- ・世代、国籍、地域などに拘らず、多様な関係のもとで過ごすことができるつながり
- ・家族や仲間とともに、安心と安らぎのもとで過ごすことができるつながり
- ・新たな仲間を優しく迎えることができ、風通しのよいまちの風土が創る新たなつながり

○恵まれた生活環境

【生活環境のイメージ】

- ・自然と都市が共存し、都心（他）では叶わない富士見ならではの生活環境
- ・安心と安全が確保され、人にやさしい生活環境
- ・住みやすく便利で、住みたい・住み続けたい生活環境

Fujimi

Common・Philosophy

【さらなる充実のために】

○成長の継続

【まちのイメージ】

- ・まちの経済が潤い、その潤いがさらなる成長を生みだす、発展力
- ・まちへの愛着や誇りが増し、周囲に羨ましがられるようなまちの魅力
- ・地の利や歴史、新たに加わる力も活かし、調和のとれた“まち”が継続する持続力

【理想の“まち”への合言葉】

理想の“まち”への合言葉は、まちのスローガンであるとともに、子どもから大人までみなが富士見の目指す共通理念をわかりやすく伝えるとともに、まちづくりの合言葉・かけ声として“ひと”と“まち”に浸透し、定着していくことを目指しています。